

1

さあ賛美しよう(コードC)

さあ賛美しよう 救い主イエスを
 さあ賛美しよう 救い主イエスを
 ホサナたたえよう賛美しよう救いの岩
 ホサナたたえよう賛美しよう救いの岩に

牧人羊を(新聖歌82番)

1. 牧人羊を守れるそのよい
たえなる み歌は 天(あめ)より響きぬ
- * 喜びたたえよ 主イエスは生まれぬ
2. 仰げばみ空に きらめく明星(あかほし)
夜屋さやかに 輝きわたれり

御前に行き

C F G Em Am

御前に行き ひざまずき

Dm G C

ほめ歌を歌おう 心から

F G Em Am

御前に行き 全てを捧げ

Dm G C

感謝ささげ 祈りささげ たたえます

主がここにおられます

1. C F Dm G7 C

主がここにおられます

Am Dm G7 C

近づこう 恵み御座に

C F Dm G C

主がここにおられます

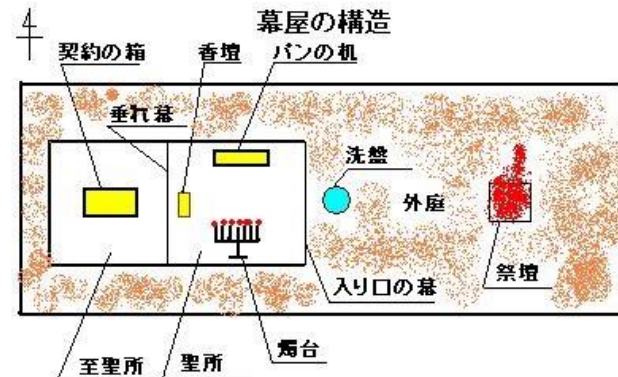
Am Dm G C

ふれましょう 御霊に

2. 麗しい 助けぬし
活ける水 あふれ流れる
あなたこそ 癒し主
手をあげて たたえよう

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り
3. 個人的な願いの祈り
4. とりなしの祈り
 - ・大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
 - ・瀬戸カルバリーチャペルの成長のため
 - 教会員とご家族の養いと導きと守りのため。
 - 魂の救いと地域の伝道のため
 - インターネット YouTube が用いられるように。
 - 病いや困難と闘っている兄弟姉妹のため
 - ライフアートスタジオのこれからのため
 - ウクレレ教室/キッズ英語教室/モンテッソーリ教室
 - クリスマス・アルバム「Room For Christ」のため
5. 日本と世界の平和を願って...
 - 日本の国の霊的回復とリバイバルのため
 - アジアの緊張関係にあって日本が用いられるように
 - アメリカ大統領とこれからの世界情勢のため
 - イスラエルの平和のため



瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

愛知県瀬戸市みずの坂5-64 0561-48-8899
 牧師: 倉知契 kei.kurachi@gmail.com



祈りの小径(こみち)

Number:037
 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致しましょう。

2 今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ルカによる福音書1章5～17節

1:5 ユダヤの王ヘロデの世に、アビヤの組の祭司で名をザカリヤという者がいた。その妻はアロン家の娘のひとりで、名をエリサベツといった。

1:6 ふたりとも神のみまえに正しい人であって、主の戒めと定めとを、みな落度なく行っていた。

1:7 ところが、エリサベツは不妊の女であったため、彼らには子がなく、そしてふたりともすでに年老いていた。

1:8 さてザカリヤは、その組が当番になり神のみまえに祭司の務をしていたとき、

1:9 祭司職の慣例に従ってくじを引いたところ、主の聖所にはいって香をたくことになった。

1:10 香をたいている間、多くの民衆はみな外で祈っていた。

1:11 すると主の御使が現れて、香壇の右に立った。1:12 ザカリヤはこれを見て、おじ惑い、恐怖の念に襲われた。

1:13 そこで御使が彼に言った、「恐れるな、ザカリヤよ、あなたの祈が聞き入れられたのだ。あなたの妻エリサベツは男の子を産むであろう。その子をヨハネと名づけなさい。

1:14 彼はあなたに喜びと楽しみとをもたらし、多くの人々もその誕生を喜ぶであろう。

1:15 彼は主のみまえに大いなる者となり、ぶどう酒や強い酒をいっさい飲まず、母の胎内にいる時からすでに聖霊に満たされており、

1:16 そして、イスラエルの多くの子らを、主なる彼らの神に立ち帰らせるであろう。

1:17 彼はエリヤの霊と力とをもって、みまえに先立って行き、父の心を子に向けさせ、逆らう者に義人の思いを持たせて、整えられた民を主に備えるであろう」。

3 黙想とところの投影の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

質問

1. 神のみまえに生きるとはどういう意味ですか

2. 生まれる前からザカリヤの子(バプテスマのヨハネ)はどのような人物になると書かれていますか？
3つにまとめて書いてください。

(1)

(2)

(3)

4 みことばの解説

アドベント(待降節)を過ごしています。マリアの受胎告知のさらに前に、救い主(キリスト)の道備えをするバプテスマのヨハネの誕生物語が、堂々とルカ福音書1章に記されています。

ザカリヤという名前は、「ザカリ=覚えている」と「ヤー=ヤーウエなる神様」というふたつの言葉で成り立っています。つまり「神様は覚えておられる」私たちは忘れられていない…。祭司ザカリヤと妻エリサベツには子どもがいませんでした。もちろん若い時には彼らはそれを願い祈り求めたでしょう。また神の御前に正しい生き方をし、努力をしましたが、それでも願いは聞かれませんでした。でも、神様は忘れておられなかったのです。神様は「その時」を待っておられました。

「その時」は突然にやってきました。『恐れるな、ザカリヤよ、あなたの祈が聞き入れられたのだ』と語られたのです。キリスト誕生の扉が開かれる前に、キリストの道を備える者のために扉が開かれました。それは…

1. 「神の御前(The presence of the Lord)」に生きた人に起こった奇跡
2. 「主の聖所」神殿あるいは教会で祈っていたときに起こった奇跡
3. 「多くの人のとりなしの祈り」によって起こった奇跡

でもザカリヤはこの主の使いのメッセージを信じることができず、一時的に声を失います。それは「深い沈黙と黙想」へと彼を導いたはずです。語られた13～17節の言葉を繰り返し思い巡らせながら、不信仰が揺さぶられ、祈りに答えてくださる神の真実に感動し、自分の存在が神の物語の中に置かれている不思議に畏れおののいたことでしょう。

私たちも、神の御前に生きるなら、必ず神様は私たちの祈りを覚えていてくださることを信じ、主の神殿(教会)を愛し、深い沈黙の中で神様のこれからなされる御業を、期待しつつ思い巡らせて、クリスマス・シーズンを過ごしてゆきたいと思われています。